参考資料４

栃木県のがん対策について

栃木県がん対策推進協議会

令和８(2026)年10月22日（木）

栃木県保健福祉部感染症・疾病対策課

がん患者交流支援事業

1. がんピアサポーター

・がん経験者等が自らの治療体験等を活かし、がん患者の悩みや不安を傾聴し共感的に受け止めともに考える相談支援活動を実施

・令和３～５年度にかけて養成研修を実施、研修を修了した11名が令和６年度からがん経験者交流会や病院の患者サロン等で活動

・令和８年度は新たながんピアサポーターを養成、がん患者支援体制の強化を図る

【養成計画】

・スケジュール　８月：募集開始、12月：講義、R9.２月：実地演習（がん経験者交流会を兼ねる）

・養成人員　５～10名程度



2. がん経験者交流会等

・がん患者等の心理的負担の軽減、がんピアサポーターの資質向上を目的に「がん経験者交流会」を開催

【令和６年度】

第１回　令和６年７月７日（日）@栃木市民交流センター　参加者７名、ピアサポーター９名

第２回　令和６年11月２日（土）@大田原市民交流センター　参加者２名、ピアサポーター５名

第３回　令和７年２月16日（日）@マロニエプラザ　参加者16名うち交流会参加者９名、ピアサポーター８名

【令和７年度】

第１回　令和７年９月28日（日）@鹿沼市民情報センター　参加者12名、ピアサポーター６名

第２回　令和８年３月８日（日）@真岡市二宮コミュニティセンター　参加者18名、ピアサポーター7名



・病院主催がん患者サロン等への派遣

令和６・７年度派遣実績　17件（拠点病院11件、市民講座３件、その他３件）延べ39名

AYA世代等のがん患者支援事業

1. 小児・AYA世代等のがん患者等の妊孕性温存療法

将来子どもを産み育てることを望む小児・ＡＹＡ世代のがん患者等が行う妊孕性温存療法及び生殖補助医療にかかる経費を助成

・対象治療　　胚凍結、未受精卵子凍結、卵巣組織凍結、精子凍結、精巣内精子採取術による精子凍結

・指定医療機関　自治医科大学附属病院、中央クリニック、那須赤十字病院、国際医療福祉大学那須医療センター、獨協医科大学病院
※県外の指定医療機関で実施した治療も助成対象

・助成実績　　R3：19件(妊孕性19)、R4：19件(妊孕性18、生殖1)、R5：13件(妊孕性11、生殖2)、
R6：35件(妊孕性22、生殖13)、R7：39件(妊孕性25、生殖14)

2. アピアランスケア支援

がん治療に伴う外見の変化により社会生活に困難を感じるがん患者を支援するため、補整具等の購入にかかる経費の一部を助成

・申請窓口　　市町（25市町）

・補助対象　　医療用ウィッグ、乳房補整具

・助成実績　　R3：361件、R4：849件、R5：953件、R6：1,008件、R7：1,148件

3. 在宅ターミナルケア支援

末期がん患者が自宅で安心して日常生活を送ることができるよう、介護サービス等の助成制度がない18歳～39歳の若年がん患者の介護サービス等にかかる経費の一部を助成

・申請窓口　　市町　R8.4月現在__11市町（宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、茂木町、市貝町、壬生町）

・補助対象　　訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与及び福祉用具購入にかかる経費

・助成実績　　R3：14人･月、R4：15人･月、R5：36人･月、R6：25人･月、R7：37人・月

治療と仕事の両立支援事業

1. 社会保険労務士による就労相談支援

・がん相談支援センターでの労働・年金・社会保険制度等に関する相談等について、社会保険労務士との電話相談による助言を実施

・対象医療機関　　がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、栃木県がん治療中核病院、
機能別医療機関（がん）、がん精密検査実施医療機関　　約120施設

・相談実績　　R1：７件、R2：14件、R3：13件、R4：29件、R5：20件、R6：22件、R7：22件

・主な相談内容　　傷病手当金の受給資格の有無や仕事への復帰に対する不安　等

2. 治療と仕事の両立支援セミナー

【令和６年度】

・日　時　令和７(2025)年１月20日（月）13時30分～16時00分

・内　容　講演、事例紹介

・参加者　企業経営者・人事労務担当者、労働者等　約80名

【令和７年度】

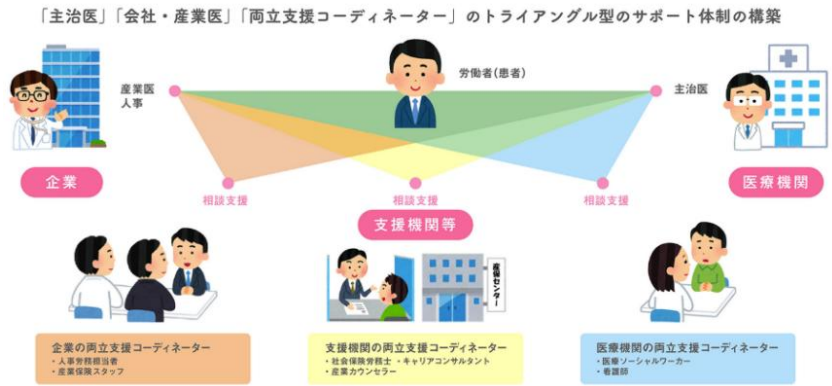
・日　時　令和７(2025)年10月18日（土）13時30分～16時00分

・内　容　講演、パネルディスカッション

・参加者　医療従事者、社労士、企業経営者・人事労務担当者等　約120名

【令和８年度】

・内容調整中



出典：厚生労働省「治療と仕事の両立支援ナビ」



令和７年度 治療と仕事の両立支援セミナー

その他のがん対策

● がん検診対策

- がん検診受診率向上の啓発活動を実施。
- **厚生労働省「がん検診受診率向上推進事業」の重点支援都道府県10か所に選定、国の支援による市町研修会を実施。**
- がん検診の精度管理体制を構築し、検診の質の向上・均一化を促進。
- 個別検診機関を対象とした精度管理事業を令和７年度から段階的に実施。

がん検診啓発リーフレット

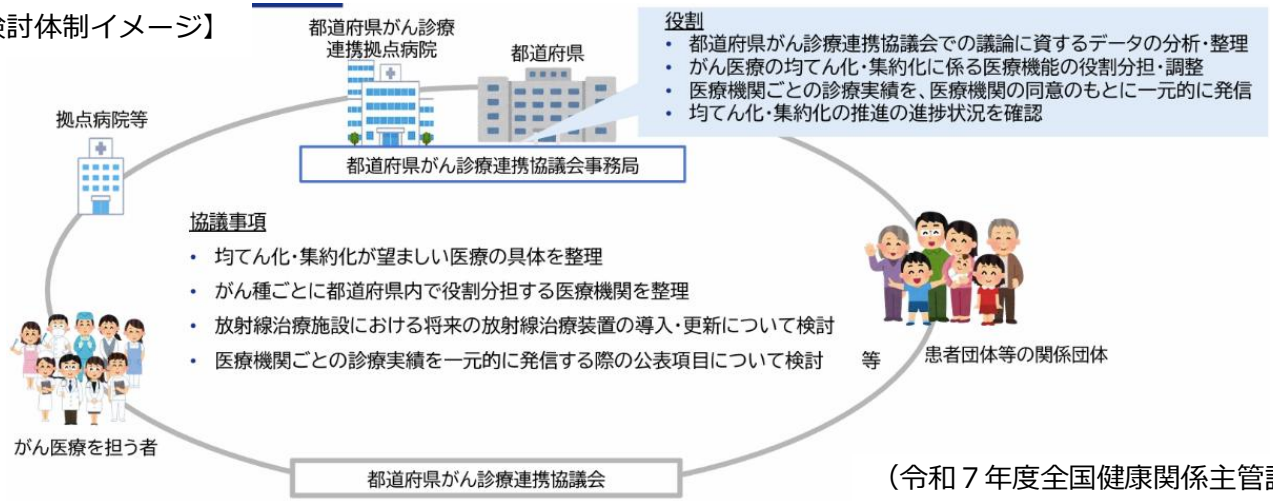




● がん医療提供体制整備

- 地域におけるがん診療連携と質の高いがん医療等の提供体制を確立することを目的に、がん医療従事者に対する研修、患者等の相談支援、情報提供・普及啓発等の事業を実施するがん診療連携拠点病院等（８病院）に補助金を交付。
- **がん・生殖医療提供体制の強化を図るため、卵巣組織凍結の実施に必要な設備整備に対する助成を実施（令和８年度限り）**。
- 持続可能ながん医療提供体制の構築を図るため、関係医療機関等においてがん医療の均てん化・集約化に関する検討を実施。

【検討体制イメージ】



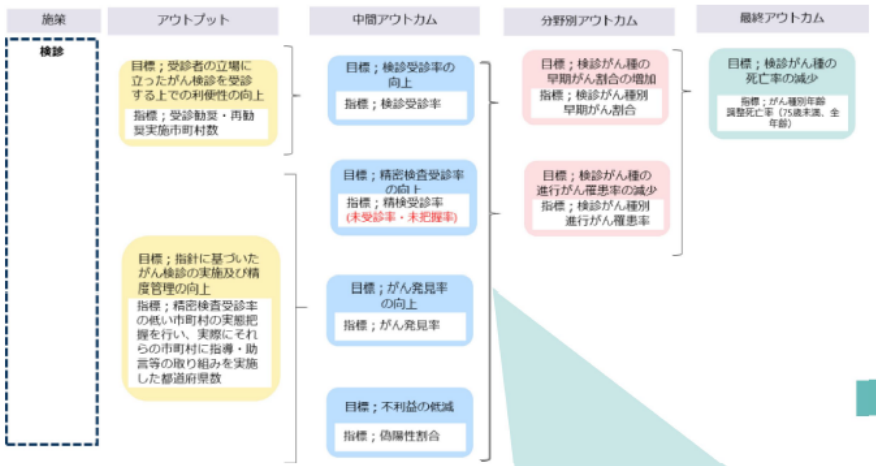
（令和７年度全国健康関係主管課長会議資料抜粋）

【参考】厚生労働省「がん検診受診率向上推進事業」

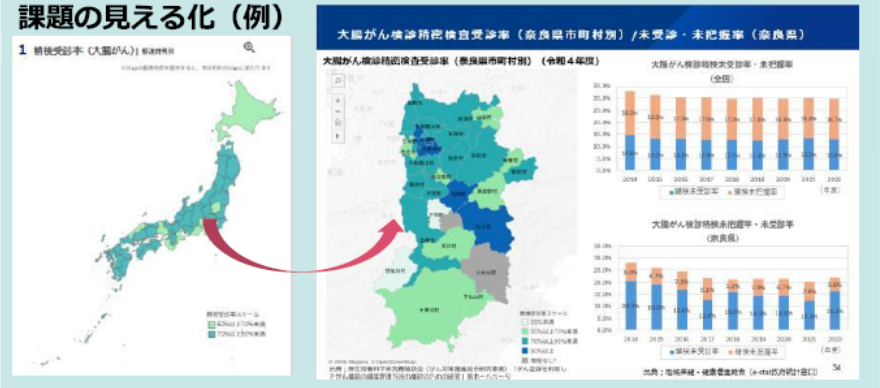
◆都道府県・市町村が課題を整理し取組を強化できるよう、国ががん検診等関連のデータを集計・ロジックモデル上に整理し、特設ホームページ上に公表する。

◆都道府県を対象とした研修会を開催し、都道府県ががん検診等関連データから自県の課題を把握する。また、都道府県研修を受けて、各都道府県は管内市町村に対し、指導・助言（研修会）等を実施する。特に、支援を希望する都道府県（10か所）を選定し、重点支援都道府県と受託者が連携して、管内市区町村を対象とした研修会を開催する。研修会においては、特に精検受診率向上に向けた課題解決の取組を検討し、効果的な取組につながるよう支援する。

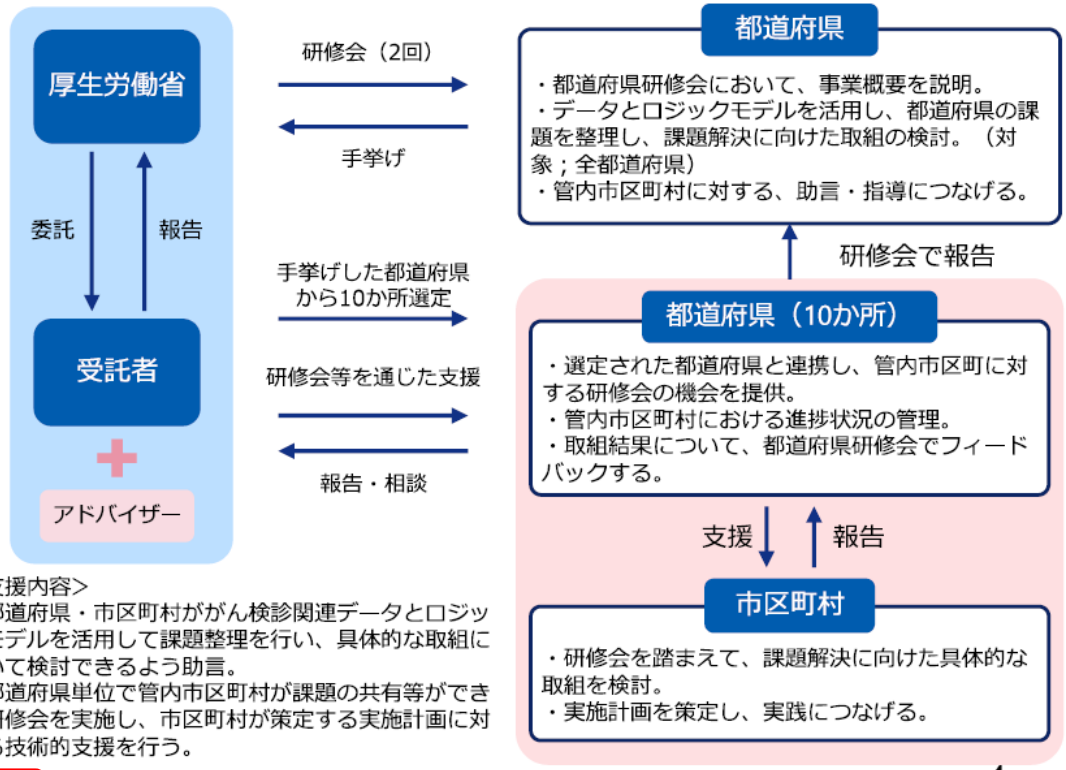
- **都道府県・市町村別のがん検診等関連データを集計・分析・公表**
- **ロジックモデルを活用して課題整理（47都道府県）**



課題の見える化（例）



- **都道府県を対象に研修会を開催（2回/年）**
- **都道府県研修を踏まえて、都道府県は管内市町村に対する助言・指導を実施**
- **重点支援都道府県（10か所）を選定し、都道府県管内市町村対象の研修会の開催を重点的に支援（10か所×2回/年）**
  〔ワークショップ形式で各市町村が課題解決に向けた具体的な取組を検討し、実践につなげる〕



<支援内容>
・都道府県・市区町村ががん検診関連データとロジックモデルを活用して課題整理を行い、具体的な取組について検討できるよう助言。
・都道府県単位で管内市区町村が課題の共有等ができる研修会を実施し、市区町村が策定する実施計画に対する技術的支援を行う。

<重点支援都道府県> 茨城県、栃木県、神奈川県、京都府、大阪府、和歌山県、島根県、徳島県、愛媛県、沖縄県

その他のがん対策

● 緩和ケア

- がん診療連携拠点病院等が実施する緩和ケア研修会の開催を支援。
- 令和８年４月１日から、緩和ケア研修会の修了証発行や確認申請等の手続きがオンライン化。
- R７年度修了者：医師・歯科医師　162名　　医師・歯科医師以外　47名

● がん登録

- がん登録推進法に基づく全国がん登録制度に関して、がん登録の届出情報の利用提供申請に基づく審査、提供等を行う。
- 登録事務業務を栃木県がん登録室（栃木県立がんセンター内）に委託、病院等からの届出情報を審査・整理し、国に提出。
- 医療機関のがん登録実務者を対象とした研修会を実施。

● がん教育・普及啓発

- がん専門医等の外部講師を登録、医療機関等と連携し高等学校等において**外部講師を活用したがん教育を**実施。
- 民間企業等と連携し、啓発資材の配布や県民公開講座の開催、各種イベント等における情報発信・普及啓発等を実施。



世界小児がん啓発ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ(９月)
昭和館ライトアップ



ﾋﾟﾝｸﾘﾎﾞﾝ月間(10月)
ﾋﾟﾝｸﾘﾎﾞﾝﾂﾘｰ



国際小児がんﾃﾞｰ(２月)
小児がんの子どもの絵画展

民間企業との連携



デジタル公開講座



外見ケアセミナー



啓発イベント



その他のがん対策（がん啓発イベント）

とちぎがん啓発フェア
ー検診のすすめー

令和8年
10/24（土）
10時～16時



会場 JR宇都宮駅東口
ライトキューブ宇都宮
交流広場２階
（栃木県宇都宮市宮みらい1-20）

がんは早期発見・早期治療で
約90%が治る時代
家族のために　自分のために
がんについて考えよう！

参加無料

体験コーナー
相談コーナー
詳しくは裏面のとおり



とちまるくんも参加するよ！

主催 栃木県　協力 裏面のとおり

私らしく輝く笑顔を、全国へ

参加費無料

がん患者さんのための 外見ケア＆リフレッシュセミナー

～ 化粧のちからと運動で心と身体を整えるイベント ～

- ✓ 治療による外見上の気になるお悩みに役立つ情報
- ✓ 免疫力UPにつなげる軽い運動
- ✓ メイクアップでの楽しいひと時

プログラムスケジュールは裏面をご覧ください

日　時　令和８年10月24日（土）
13時00分～14時30分　※開場12時30分

会　場　ライトキューブ宇都宮 ４階小会議室
（栃木県宇都宮市宮みらい1-20）

対象者　乳がんを経験された方※
※ ほかのがんを経験された方もご参加いただけます。
※ 体調に合わせてご参加ください。

定　員　３０名（先着順）

お申込み　右記応募フォームからお申込み下さい。
URL:https://forms.cloud.microsoft/r/c6GDiaFPWr
【申込締切】 令和８年10月13日（火）

主催 栃木県×SHISEIDO

栃木県と資生堂ジャパン株式会社は「がん対策に関する連携協定」を締結しています。

お問合せ先　栃木県保健福祉部感染症・疾病対策課
TEL:028-623-3096　MAIL:kan-shitsu@pref.tochigi.lg.jp

プログラムスケジュール

心と体をトータルでリフレッシュする充実の90分間

13:00～13:05	開講
13:05～13:20	講演『治療中でも自分らしく輝くための選択肢』 オンライン配信 講演者：株式会社資生堂 主任研究員 池山 和幸 氏
13:20～13:40	軽い運動を習慣化につなげよう オンライン配信 トレーナー：リオールジム代表 奥松 功基 氏
13:40～14:25	化粧を楽しむ『外見ケアセミナー』 対面 外見変化をカバーして、自分らしい毎日を
14:25～14:30	閉講





※プログラム内容や時間は進行状況により多少前後する場合がございます。
※運動しやすい服装でお越しください。

講演者



池山 和幸 氏
医学博士/株式会社資生堂
みらい開発研究所・主任研究員
認定がん医療ネットワークナビゲーター
医療機関との共同研究を通じて、外見ケアによる心理社会的効果を研究医療者やがんサバイバーを対象とした講演活動を行っている。

パーソナルトレーナー



奥松 功基 氏
スポーツ医学博士 / リオールジム代表
聖路加国際病院との共同研究、学会発表を行うなど、医療機関と連携したメディカルフィットネスジムを運営し、健康増進やがん経験者向けのサポートに従事している。